

川西町経営改革プランAP評価(外部評価)
結果総括表

(平成30年度実施分)

改革の三つの柱	改革プログラム	重点施策	具体的な行動計画	担当課	評価点数	評価のまとめ	
I 組織力（役場）の強化	1 行政サービスの推進	① 総合窓口の充実	窓口の総合化や窓口機能強化、ワンストップサービス体制の充実	住民生活課	77.5	○行動計画、P&Dの有効性	ワンストップサービスは、各種手続きの合理化が図られ、そして町民サービスの向上にとって有益なシステムであることから概ね有効であると評価する。 この度、三課及び教育委員会の手続きのワンストップ化体制の強化を図られたことに対し、評価する。今後は、さらに利用頻度が拡大するマイナンバーの慎重な取り扱いと、更なるワンストップサービスの拡大を期待する。
						○内部評価（C&A）の整合性	マイナンバーの取り扱いについて厳格性を重んじ、住民目線での窓口の改良は妥当であることから、概ね整合性が取られていると評価する。 窓口環境はプライバシーを保つことも必要であるが、オープンな雰囲気も相談しやすくなるうえで大事なことと考える。相反する住民ニーズに対応するべく今後とも検討し、番号による窓口受付や新庁舎での待合スペースの確保など総合窓口の充実を推進していかれることを要望する。
I 組織力（役場）の強化	2 職員の能力向上	① 職員研修の充実と能力開発	人事評価制度の効果的な制度の検討と適切な運用	総務課	60.4	○行動計画、P&Dの有効性	人事評価制度が導入されていることは評価するが、運用面の不足を解消し、早期改善により職員の資質向上やモチベーションが高められる取組を検討するため、連絡調整会議を早期に実施することを要望する。
						○内部評価（C&A）の整合性	制度について有効な運用を行うには職員への周知はもちろん評価する側の技量を十分に上げて統一したマニュアルのもと実施することを検討してもらいたい。また、職員は、評価されることによってモチベーションが上がり仕事の意欲に繋がるので様々な評価方法（同僚間での評価、部下が上司を評価するなど）を試す等の施策を要望する。
I 組織力（役場）の強化	2 職員の能力向上	② 職員提案の積極的な活用	職員提案制度の見直しと拡充	総務課	58.3	○行動計画、P&Dの有効性	職員から一人一人の提案を求めたり、採択数の多少を問題とするのではなく、職員が自主的に改革にチャレンジする組織の実現を検討してほしい。目先の仕事に追われながら提案しなければならないとしたら、実行する余裕がないことも問題と思われるため改善を望む。
						○内部評価（C&A）の整合性	職員の提案をどういった方法で実際に活用できるものに導いていくための手順や方法が確立されていないとしたら検討を要する。提案による職員意見を反映させるシステムの構築検討を要望する。（例 グループ提案等）

改革の三つの柱	改革プログラム	重点施策	具体的な行動計画	担当課	評価点数	評価のまとめ	
I 組織力（役場）の強化	3質の高い行政経営の推進	②民間力の導入	福利厚生事業の民間委託	総務課	80.0	○行動計画、P&Dの有効性	全員が必要と思われる健康面の対応に取り組んでおり有効であると評価する。今後、さらに福利厚生事業を行う民間団体に外部委託を推進することを要望する。
						○内部評価（C&A）の整合性	重点施策である「民間活力の導入」については、委託先の市町村職員共済組合が完全に民間であると町民から理解されにくいのではないかと懸念はあるが、一步「民間活力の導入」に近づいたことについて概ね整合がとられていると評価する。なお、職員が福利厚生事業に参加しやすいよう各課に努力していただきたい。福利厚生事業は、職員とその家族の心身が健全に保たれるようにするために必要な事業であり、事業所の経営の充実度の指標となるものであるため、地域と連携した福利厚生のあり方など新たな方法も検討していくことを要望する。
I 組織力（役場）の強化	3質の高い行政経営の推進	②民間力の導入	道路維持管理業務の委託	地域整備課	72.5	○行動計画、P&Dの有効性	「民間でできることは民間へ委託する」という一般的な考えを踏襲し、事務量の効率化を推進しており、概ね有効であると評価する。予算と人材の課題はあると思うが、最優先する業務を重点的に委託拡大していくことを要望する。
						○内部評価（C&A）の整合性	平成30年度の実施（工事）内容が外部委託する必要のない規模のものであったということであり、その判断が見積等を行った結果であることから概ね整合がとられていると評価する。なお、町道の道路維持管理業務について民間委託で採算があうのか疑問であることから、民間委託と直営との費用の比較を早急に行うことを要望する。
I 組織力（役場）の強化	3質の高い行政経営の推進	②民間活力の導入	川西町交流館の指定管理者制度について導入の検討及び実施	生涯学習課	64.6	○行動計画、P&Dの有効性	交流館（あいぱる）をどのような施設として運用したいのか、今までの経過において、なぜ現状の施設になったのか、その利活用の方向性があまり見えないことについては疑問であり評価できない。既に他所有施設に指定管理者制度を導入しており、制度の良し悪しは明確であり、早期に方向性を提示し、提供する施設のサービスやコスト軽減に直結することを要望する。
						○内部評価（C&A）の整合性	スポーツや交流の場として、公共施設の有効活用に向けた調査研究を実施し、その方向性と工程を急ぐべきである。現在の機能を維持できるよう有効活用を思い切った手法で検討されたい。

改革の三つの柱	改革プログラム	重点施策	具体的な行動計画	担当課	評価点数	評価のまとめ	
I 組織力（役場）の強化	3質の高い行政経営の推進	③組織・定員の適正な管理	組織の適正な改編、次期計画の策定	総務課	70.8	○行動計画、P&Dの有効性	人件費の適正化に取り組んでいると思われるのでその取り組みについては評価できる。しかしながら、具体的な取り組みと目標が分かりにくく、本事業が軌道に乗っていない点もあり次期計画策定に大いに期待したい。
						○内部評価（C&A）の整合性	町民のニーズは効率的・機動的な組織として管理や分掌事務の遂行が行われることであり、実態に即した見直しの姿勢は評価できる。業務量の適正化と時間外勤務の削減はもちろんだが、管理職等による業務量の徹底した管理についても要望する。処理しきれない業務については、アウトソーシング等の委託も視野に入れることも提案する。
I 組織力（役場）の強化	3質の高い行政経営の推進	⑤広域行政の推進	災害等に備えた連携の強化	総務課	77.5	○行動計画、P&Dの有効性	災害時に町民が安全に行動ができるよう、訓練内容、訓練回数の妥当性については検討する必要があるということから、概ね有効であると判定する。 近年激甚化している災害は被害を受けた市町村だけで処理したり、解決できるものではないことは明らかであり、近隣市町村との連携を強化していくことを要望する。
						○内部評価（C&A）の整合性	協定の継続、更新、掘起こしなどについて、具体的にどのように行ったのかが明確でないことから、概ね整合性がとられていると判定する。 全国で想定外の災害が発生しており、協定内容の実効性の確認や、災害対応の課題を検証してほしい。全国の被災地で現地調査は難しくても、危機管理の一環として文書等を取り寄せるなどにより調査を行っておく必要があると考える。川西町総合防災訓練が実践的な内容になるよう、そして災害時、適切に対応できるよう危機対応の更なる充実を要望する。
II 地域力の強化	1町民と行政の役割分担の確立	②地域活動の支援と連携	アダプト事業、マイロードサポート、河川愛護事業の継続	地域整備課	58.8	○行動計画、P&Dの有効性	事業実施者数は目標に達しておらず、目標を達成するための行動が前年実施した団体へ申請書の送付だけであることからあまり有効ではないと評価する。 町民のふれあいや団結、また行政のかかわりを身近に感じる事業であるので、町民主体・町民目線の確実な実施を要望する。
						○内部評価（C&A）の整合性	内部評価において、Checkで「目標より遅れている」ということ、Actionで「周知と実施事業者拡大を図ってゆく」の結果を受け、あまり整合性がとられていないと評価する。 SNSや町報を含めて周知手段を工夫し、周知拡大を図る必要がある。人口減少、高齢化が進んでいる中、地域でできることと行政が行うことの見直しを行ったうえでプランを作成することにより更なる地域活動の活性化が期待できる。

改革の三つの柱	改革プログラム	重点施策	具体的な行動計画	担当課	評価点数	評価のまとめ	
Ⅱ 地域力の強化	2 行政情報の提供	①わかりやすい行政情報の提供	税情報の周知、税知識の普及と納税意識の高揚	税務会計課	72.9	○行動計画、P&Dの有効性	概ね有効と評価する。納税者の納税意識の高揚と若年層への租税教室は並列で取り組むべきもので、また、課題というものは異なると思うので、これまで同様様々な機会を捉え、啓蒙活動を展開されたい。
						○内部評価（C&A）の整合性	町の施設も税金で整備されている等税の役割を町民に説明しながら、現在の取り組みを機能的に広げ、分かりやすい情報提供方法を工夫して児童・生徒の立場でのパンフレットの作成を検討されたい。
Ⅲ 財政力の強化	1 安定した財政基盤の確立	④自主財源の確保（ふるさと寄附制度）	返礼品等を検討する。	産業振興課	78.8	○行動計画、P&Dの有効性	寄附金額が目標を上回っており、そして返礼品の充実、適正化が図られていることから、概ね有効であると評価する。 今後、町民へ周知することはもちろん、口コミやSNSなどで県内外の市区町村に住む町出身者に伝わり、寄附金額が増えてゆくことに期待したい。
						○内部評価（C&A）の整合性	町返礼品に魅力を感じ寄附額が目標を超えていることから、概ね整合性がとれていると評価する。 寄附金額の設定、返礼品の選定を町と事業者が一体となり十分検討すると共に得られた寄附金を何に使い、どんな効果が得られたかをHPやSNSを使って具体的、積極的に発信し、それが町のアピール、移住への勧誘へとつながるようなクラウドファンディング的な戦略で自主財源確保を展開すべきではないかと思われる。
Ⅲ 財政力の強化	1 安定した財政基盤の確立	⑤公共施設等の総合的かつ計画的な管理と有効活用	公有財産の民間への貸し付けや売却など、施設の有効活用	総務課	70.0	○行動計画、P&Dの有効性	町有財産の整理は、無駄のない合理的な財産管理という観点からも速やかに実施されるべき課題であることから、その取り組みについて概ね有効であると評価する。 なお、今後も弾力的に売却や貸付を推進していくことを要望する。
						○内部評価（C&A）の整合性	実際に具体的な処分等の事例がないことからあまり整合性がとられていないと評価する。 現在の若者支援策を推進しながら、行動計画にあるように公募による民間への貸付や売却の情報発信などのその手法を企業経営を携わる外部有識者から意見を参考にする体制の整備を行い、町民に利益が還元されるよう取り組みを推進していくことを要望する。

改革の三つの柱	改革プログラム	重点施策	具体的な行動計画	担当課	評価点数	評価のまとめ	
Ⅲ財政力の強化	1 安定した財政基盤の確立	③収納体制の強化と徴収率向上につながる取組みの推進	納入しやすい納税環境の拡充、口座振替の利用者の増加推進	税務会計課	70.8	○行動計画、P&Dの有効性	納税者の利便性を考慮して、24時間納付できる体制を構築し、納付できる体制づくりを進めているので評価できる。コンビニ納付だけでは収納率向上は難しいので例えば口座振替利用率の拡大に向けた勧誘やキャッシュレス決済など様々な方法での納税環境の推進を検討されたい。
						○内部評価（C&A）の整合性	収納率向上の目標に向かって、様々な施策により改善傾向にあり評価する。税の公平性の観点から更なる体制強化や納付の誘導策を模索することを希望する。
Ⅲ財政力の強化	1 安定した財政基盤の確立	④自主財源の確保	広報媒体を利用した広告収入の増加	まちづくり課	68.8	○行動計画、P&Dの有効性	取組課題や数値目標は概ね有効であるものの実績が伴っていないものと判断し、広告掲載対象先を町外にも拡大を図り歳入の確保を期待する。
						○内部評価（C&A）の整合性	実績が伴っていないことは検討が必要であると評価する。町外の人等も集まる場所、施設（例：体育館、ダリヤ園、まどか、マルシェ）を利用したのネーミングライツの取組みや公共施設の駐車場を利用したの宣伝方法等、具体的な施策を要望する。